

令和7年度

2級建築施工管理技術検定 第二次検定

解

答

試

案

※ご注意※

- ・本解答は、令和7年11月25日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので、悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)建設業振興基金とは、一切関係ございません。

CIC 日本建設情報センター

<https://www.cic-ct.co.jp/>

不許複製

【問題 1】

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

【問題 2】

※ 使用資機材の選定に関する記述、並びに c 及び m 以外の用語についての作業上の安全に関する記述は不可とする。

(下記以外にも正答となり得る留意すべき内容はあるが、本試案では代表例を提示する)

a	型枠の剥離剤	①用語の説明	型枠内に打込まれたコンクリートとせき板との付着力を減少させ、脱型及び清掃を容易にすることを目的に、せき板表面に塗布する薬剤。
		②施工上留意すべきこと	過度に塗布すると、コンクリート表面に剥離剤が残存し仕上材の付着の妨げになるので、適切な量を塗布する。
b	金属製建具の かぶせ工法	①用語の説明	改修工事において、既存建具の外周枠を残し、その上から新規建具を取り付ける工法。
		②施工上留意すべきこと	無目、方立を撤去する際、切断面は、ディスクサンダー等で突出物を除去及び研磨した後、錆止め塗装を施す。
c	クローラー クレーン	①用語の説明	接地面積が広いキャタピラで走行する、安定性の高い移動式クレーン。
		②施工上留意すべきこと	地盤が軟弱であるなど、転倒のおそれのある場所では、作業をしない。
d	軽量鉄骨壁下地 のスペーサー	①用語の説明	軽量鉄骨壁下地を構成する縦材(スタッド)と横材(ランナー)のうち、縦材(スタッド)の変形を防ぐために用いられる金具のこと。
		②施工上留意すべきこと	スペーサーは、各スタッドの上下ランナー付近の端部を押さえ、間隔600mm程度に留め付けるようにする。
e	コンクリートの レイタス	①用語の説明	コンクリート打設後、ブリーディングによって水とともにセメント中の微細な物質等がコンクリート上面に浮き上がってできる、脆弱な薄い層。
		②施工上留意すべきこと	レイタスは打継ぎ部の欠陥となるので、ワイヤーブラシ等で除去する。
f	シーリング工事の バックアップ材	①用語の説明	シーリング材の3面接着の回避と充填深さの調整等を目的として、目地に装填する材料。
		②施工上留意すべきこと	丸形のバックアップ材は、目地幅より20%程度大きい直径のものを使用する。

g	せっこうボード張りにおけるコーナービード	①用語の説明 ②施工上留意すべきこと	せっこうボード壁の出隅部のひび割れ、出隅部への衝撃による損傷を防ぐ為のもの。 金属製の場合、表面は亜鉛メッキを施して防錆処理し、ジョイントコンパウンドで丁寧に表面を覆う。
h	タイルカーペット	①用語の説明	45~50cm角に加工された置き敷き式のカーペットで、粘着はくり型の接着剤で敷き込む。
		②施工上留意すべきこと	施工前に割り付けを行い、端部でも1/2以下の端物がでないよう留意し、中央部分から施工する。
i	鉄筋の機械式継手	①用語の説明	つなぎ合わせる鉄筋の端部を、カップラーやスリーブに挿入して接合する継手で、ねじ節継手やモルタル充填継手などがある。
		②施工上留意すべきこと	鉄筋端部の所定の位置に挿入マークを施し、鉄筋がカップラーやスリーブに所定の長さ挿入されていることを確認する。
j	床付け	①用語の説明	所定の深さまで掘削した後に平らに仕上げて、基礎工事のための碎石敷込みができる状態にすること。
		②施工上留意すべきこと	床付け面を乱した場合、礫・砂質土は転圧による締固めを行い、粘性土は礫・砂質土等の良質土に置換し、セメント・石灰等による地盤改良を行う。
k	被覆アーク溶接	①用語の説明	被覆材の塗られた溶接棒を用いる溶接法で、手溶接とも呼ばれる。
		②施工上留意すべきこと	吸湿した溶接材料はアークが不安定になりやすいので、溶接材料の取り扱いでは、特に吸湿に注意する。
l	木構造のアンカーボルト	①用語の説明	木造建築物の土台を基礎コンクリートに接合する際に用いられるボルトで、基礎に埋め込み設置する。
		②施工上留意すべきこと	アンカーボルトは柱・間柱・土台継手の位置を避け、間隔2.7m以内に埋め込む。
m	床開口部の養生	①用語の説明	施工上の必要に応じ床に設けた開口部に、墜落防止のため設置する保安設備。
		②施工上留意すべきこと	開口部等で、墜落により作業者が危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆いなどの墜落防護工を設ける。
n	ルーフドレン	①用語の説明	屋根面に設ける雨水をといに流すための排水金物。
		②施工上留意すべきこと	コンクリート打設前に型枠に固定し、ドレンのつばの天端レベルを周辺コンクリート天端より約3~5cmほど下げる。

【問題 3】

1	鉄骨工事の作業Ⓐ	アンカーボルト設置
	内装工事の作業Ⓑ	OAフロア敷設
2	外部足場解体の最も早い着手時期	5月中旬
	内部建具枠取付けの最も遅い完了時期	5月上旬
3	差額	60万円
4	比率	48%

【問題 4】

1. 建設業法	①	④ 報酬
	②	③ 完成
2. 建築基準法	③	② 施工者
	④	③ 崩落
3. 労働安全衛生法	⑤	① 就業
	⑥	④ 使用

【問題 5-A】

※受検種別：建築の受検者が解答。

1	①	③ ヒービング
2	②	② 100
3	③	① 3
4	④	④ 床枠組

5	⑤	① 定規ずり
6	⑥	④ ロッキング
7	⑦	③ 600
8	⑧	② 1.8

【問題 5-B】

※受検種別：躯体の受検者が解答。

1	①	② 60
	②	① 5秒から15秒
2	③	③ 20mmから30mm
	④	④ 陸墨

3	⑤	② 1.0
	⑥	④ フィラー
4	⑦	③ ガス溶断
	⑧	① 石綿

【問題 5-C】

※受検種別：仕上げの受検者が解答。

1	①	② 突付け
	②	④ 100
2	③	③ 15
	④	④ 5

3	⑤	① しわ
	⑥	② 水分
4	⑦	① 150
	⑧	③ 雄ざね